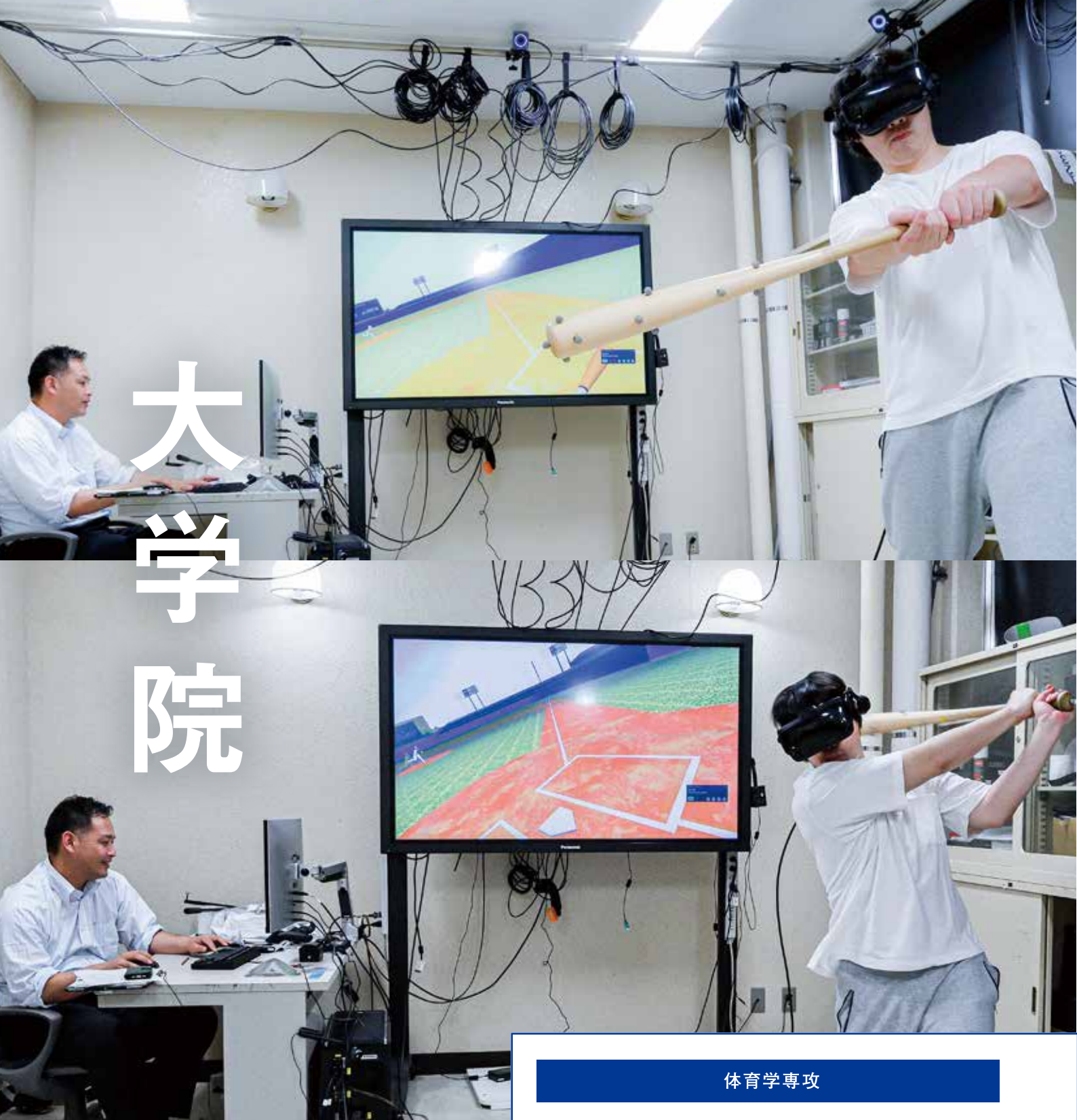


大学院



大学院体育学研究科の目的

鹿屋体育大学大学院体育学研究科は、スポーツ・健康に関する学術の理論及び応用と実践が一体となった教育研究を展開し、その深奥をきわめ、または高度の専門性が求められる職業を担うための深い学識及び卓越した学力を培い、スポーツ文化の進展及び国民の健康増進に寄与することを目的としています。

体育学専攻

■ 修士課程

スポーツや身体運動を通して、国民が健康で幸福を享受できる社会の構築に貢献する専門的・実践的な能力の養成及び職業人として中核的な役割を担う人材の育成を目指しています。

■ 博士後期課程

体育学に関する最先端の研究活動を推進するとともに、スポーツや身体運動を通して、国民が健康で幸福を享受できる社会の構築に貢献する高度な専門的能力を有する人材の育成を目指しています。

■ 体育学・スポーツ科学連携大学院教育プログラム

本プログラムは、鹿屋体育大学大学院体育学研究科体育学専攻を中心として、複数の大学が連携・協力して教育・研究指導を行うプログラムです。

連携校

熊本大学大学院教育学研究科（修士課程・博士後期課程）
宮崎大学大学院教育学研究科（修士課程・博士後期課程）
鹿児島大学大学院教育学研究科（博士後期課程）

修士課程2年（体育学専攻）

三宅 麟太郎

MIYAKE Rintaro

■出身校：鹿屋体育大学体育学部

恵まれた環境

私は、スポーツ場面における身体動作とパフォーマンスの関係を力学的に解析する「スポーツバイオメカニクス」の研究をしています。本学は競技レベルの高い学生が多く在籍し、SPORTEC スポーツパフォーマンス研究センターやスポーツトレーニング教育研究センターなどの施設もあります。そのため、様々な分野に共通して、データを取得しやすい恵まれた環境であると思います。また、学生の人数も少人数で先生方との距離も近いので、自身の能力を伸ばしやすい環境であると思います。



国立スポーツ科学センター（JISS）との連携大学院（博士後期課程）

国立スポーツ科学センターを主な勉学の間として、同センターの特色を生かした授業科目の履修及び研究指導を受け、鹿屋体育大学大学院の博士（体育学）の学位取得を目指すものです。



大学院生からのメッセージ



筑波大学との共同専攻

スポーツ国際開発学共同専攻（修士課程）

スポーツというツールを用いて、国内外で生じている課題の解決に貢献できる人材の育成を目指す修士課程です。本学と筑波大学・日本スポーツ振興センターの3機関が共同して、スポーツを通じた国際開発と平和に関する実践的能力を養う教育プログラムを提供します。



大学体育スポーツ高度化共同専攻（3年制博士課程）

大学体育スポーツの充実のために、教育指導と研究の循環を高度に展開できる能力育成を軸とした教育指向型の博士課程です。本専攻は筑波大学と本学との共同設置で運営しています。各大学の専門性・独自性を最大限に生かしながら、現職教員の方にも可能な限り無理なく受講ができるように、遠隔講義システムや週末・長期休業を利用するなど、カリキュラムが工夫されています。

